

第6次真狩村総合計画 概要版



令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間で進める、村づくりの計画「総合計画」ができましたので、お知らせします。

村づくりのテーマは
笑顔でつなぐ うるおいあふれる村 まっかり
です

自然のうるおい、心のうるおい、地域経済のうるおいなど、さまざまな「うるおい」があふれる村。

うるおいを感じながら心地よく過ごしている住民、自然や食、人との出会いを楽しみにやって来る来訪者、それぞれから、多くの笑顔が見られる村。
笑顔同士が「つながる」ことで、笑顔がさらに増えていく村。

良いものは守り、未来への変革は進めながら、うるおいあふれる村を、次の時代に「つなげていく」村。

この計画では、こんな村をめざします。

年を重ねても住み続けられるように、また、村から離れても「ふるさと・真狩」に戻って来たいと思えるように、住民が日常生活を心地よく過ごせる真狩村をめざします。

羊蹄山ろくに広がる美しい景色とともに、産業や人々のいきいきとした姿が、住みやすさの証でもあり、村外からも感じられる村の魅力にもなっています。これからも村のあちこちで、いきいきを感じることができる真狩村をめざします。

先行きが見通しづらい中でも、未来志向の村づくりを忘れず、知恵を出し合い、住民相互で支え合う気持ちを大事にしながら、未来に続く真狩村をめざします。

めざす将来人口

「真狩村人口ビジョン」と同様に、計画の最終年度である令和12(2030)年に、1,856人を維持することを目標とします。
また、人口維持をめざす「真狩村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重点施策に位置づけて推進します。

6つの村づくり方針

方針1

活力と潤いを生み出す産業を振興する

地域の活力や経済の潤いを生み出すには、地域産業の振興が不可欠です。真狩村の産業が、社会経済の変化にも負けず、地域にしっかりと根を下ろして、相互に連携、補完し合いながら、すそ野を広げ、発展していくことをめざします。

方針2

美しく安全・安心な環境を守る

真狩村に住む多くの人々が感じている村の良さは、豊かな自然と美しい風景の中で、危険に脅かされずに生活できることです。美しさや安全・安心を支えている取り組みをこれからも進め、次代に継承していくことをめざします。

方針3

生活しやすい基盤をつくる

住民の生活を支える基盤は、快適な日常生活を送るうえで不可欠なものです。古くなったり、使い勝手が良くないことで、日常生活に支障が生じないように、また、将来の見通しもふまえてより便利になるように、小さな村でも住みやすい基盤づくりを進めます。

方針4

健康とつながりを大切にする

心身の健康は、みんなの望みです。一人一人が、自らの健康を大切に思い行動する村をめざします。一方、年齢や家族構成、抱える悩みなどは様々です。顔の見えやすさを生かし、全住民がそれぞれのつながりを持ち、だれも取り残されない村をめざします。

方針5

学びやスポーツを楽しめるようにする

子どもからお年寄りまで、学んだり体を動かしたりすることは生涯を通して大切なことであり、仲間づくりや健康増進にもつながります。子どもの学びの場の充実とともに、学びやスポーツを楽しんでいる住民がさらに増えることをめざします。

方針6

知恵を出し合い、村づくりを進める

厳しい状況が続く中でも前進しようとする気持ちと知恵と行動は、より良い未来に向かって村づくりを進めていくうえで重要です。住んでいる人たちに加え、外からの声や力も取り入れながら、村づくりに知恵を出し合い、前進していく村をめざします。

紙面の都合で、大まかな内容のみお知らせします。「関連する村づくり項目」とそれぞれの取り組み内容については、村のホームページから計画書全体をご覧ください。

方針1 活力と潤いを生み出す産業を振興する

- 村の経済を支える農業の安定を引き続き維持していくとともに、住民の日常生活を支え、働く場や賑わいの場を生み出す商工業の活性化を図っていくことをめざします。
- 農業に支えられた豊かな食と、自然や景観が魅力の観光を結びつけることで、真狩ブランドとしての訴求力や経済効果を高めます。

関連する	1 農業	2 林業	3 商工業、起業支援
村づくり項目	4 観光	5 雇用、勤労者	



方針4 健康とつながりを大切にする

- 子どものころ、若いころから自らの健康に関心を持ち行動する住民を増やし健康寿命の延伸をめざします。
- 地縁や血縁に頼れない人たち、担いきれないニーズを把握し、不安を解消することで、孤立し取り残される人が出ないようにします。

関連する	19 保健	20 医療	21 地域福祉
村づくり項目	22 高齢者福祉	23 障害者福祉	24 児童福祉、子育て支援



方針2 美しく安全・安心な環境を守る

- 村の魅力である豊かな自然環境や景観を引き続き守っていくとともに、環境負荷を村全体で、できるだけ減らします。
- 日常生活で危ないと感じることを、交通安全や防犯、消防・救急の観点から減らしていくとともに、災害や非常事態から命や財産を守ることができる地域防災力を高めます。

関連する	6 環境保全、環境美化	7 公園、景観
村づくり項目	8 火葬場、墓地	9 防災
	10 消防、救急	11 交通安全、防犯



方針5 学びやスポーツを楽しめるようにする

- 住民相互の交流やふれあい、仲間づくりの場として、学びやスポーツを楽しめる場面が広がっていくようにします。
- 子どもたちの学びや活動の環境を整え、子どもたちの成長を村全体で見守り、応援できる村づくりを進めます。

関連する	25 生涯学習、社会教育	
村づくり項目	26 小中学校	27 高等学校
	28 食育	



方針3 生活しやすい基盤をつくる

- 高齢になっても、移動や生活がしやすい基盤整備を進めます。
- 情報通信技術や新幹線の延伸など、これからの進展が期待されるものを有効に活用し、生活の利便性を高めます。

関連する	12 環境衛生(下水、排水、し尿、害虫)	
村づくり項目	13 ごみ処理、リサイクル	14 住宅、宅地
	15 水道	16 道路(道路の除排雪)
	17 公共交通	18 情報通信、デジタル化



方針6 知恵を出し合い、村づくりを進める

- 村内の協働を進め、更には村外の知恵やマンパワーも生かしながら、小さくても活気を感じる村づくりを進めます。
- 持続可能な経営をめざし、できるだけ早く効率や効果があがることを重視する一方、中長期的な視点から必要なことにも着実に取り組みます。

関連する	29 地域活動、村づくり活動	
村づくり項目	30 交流、国際化	31 男女共同参画
	32 移住・定住、滞在支援	
	33 広報、広聴、情報発信	
	34 行財政、広域行政	

